

7 CORE & CDL TIMES

発行日：2019年10月1日（季報）

2019
7.9,
7.11

なしば茶発売前特別試飲会

主催：株式会社G P C研究所、鳥取大学地域価値創造研究教育機構

連合農学研究科の児玉基一朗先生の研究成果から誕生した「なしば茶」の試飲会を、鳥取大学と地元企業によるプロジェクトチームで開催しました。湯梨浜町の二十世紀梨の葉を原料とし、健康効果のあるポリフェノールが豊富に含まれています。梨の葉100%のお茶、紅茶風味、香り豊かなルイボス風味の3種類を提供。お昼前後の時間だけの開催にもかかわらず、学生や教職員、地域の方、大学に来ていた高校生など両日で200名を超える方々に楽しんでいただきました。



2019
7.23

鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科 地域マネジメント学特別講義 公開講演会 空き家活用の取り組み②



地域の維持や活性化に関するプロジェクトを検討、企画、実施する力を身につけるため、地域の現状や課題、そして地域における実際の取り組み事例を学ぶ講義がCDLで開催されました。今期のテーマは「地域創生と空き家活用」。全8回のうち5回目（第1部）6回目（第2部）となるこの日は、岡山県玉野市宇野でクリエイターの移住支援を行う「うのづくり（宇野に住んで十つくる）」の代表 森美樹さんを講師に迎えた公開講演会でした。第1部は広報センター2階スペースFで、宇野港界隈への移住のお手伝いや空き家の紹介などを行ってきた森さんの活動を知り、第2部ではCDLにて参加者と意見交流を行いました。

2019
7.25

地域を知り、地域で実践するアートマネジメント講座2019【00】 「地域を知り、地域で実践するアートマネジメント」とは？

リサーチやワークショップ、記録や情報発信など広く芸術分野において有効な技術を連続レクチャーから学べる概論編と、アーティストと出会い議論し、音楽・ダンス・美術・演劇・メディアの現場に携わることの出来る実践活動編で構成されるアートマネジメント講座が現在開催されています（2019.8～2020.3）。それに先立ち、第0回であるオリエンテーションが7月、CDLで開催されました。地域創造コースの竹内潔准教授をはじめ、各実践活動を担当する地域学部附属芸術文化センターの職員が、概論編及び実践活動編を含む本講座全体と各実践のねらいや内容についての説明しました。地域アート（芸術・文化）の活動を行うことの意義や課題、求められるマネジメントとは何か、本講座を通じて何を学びたいか、何を学ぶことできるかを受講希望者と共有しました。



2019
8.2

大人の交流会 ver.3



今年の春にアフリカの一人旅をした鳥取大学農学部2回生のallege主催の「大人の交流会」の第3弾が鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ（CDL）で開催されました。今回はウガンダ人の彼女がいる大学四年生ジョブズさんや、来年2月タンザニアに移住するYoutuberのたいしさんなど県外からのゲストを招いて「若者から見たアフリカ」をテーマにクロストークを開催しました。大学生や海外に興味のある方だけではなく一般の方や職員など40名ほど来場していただき、ゲストトークのあと参加者たちと交流しました。



会場では、お菓子とアフリカのコーヒーが飲み放題であったり、ラップライブやDJが行われ賑わっていました。JICA特別ブースでは、JICA職員による青年海外協力隊などの海外キャリア相談も行われました。



2019
9.17～
9.30

令和元年度 鳥取大学

地域課題研究成果報告会＆研究ポスター展



平成30年度に採択された地域参加型研究プロジェクトについて、実績報告に基づいて作成したポスター展示を行いました。地域参加型研究プロジェクトとは、人口減少・過疎化が進む地方の創生に貢献するため、長年の実績をベースに、ニーズのくみ上げと成果の波及力を強化し、地域の当事者と研究者・学生が協働して課題を見出し進める研究プロジェクトです。学内の教職員を対象とした公募事業で、調査型・実践型・発展型の3区分があり、全部で26のプロジェクトの成果報告が展示されました。



9月24日には『人と人との“対話”に着目する』をテーマとした研究の成果報告会が行われました。地域の方や教職員など多くの方にご来場いただきました。

地域参加型プロジェクト（発展型）

「多様な市民参加の場に資する対話のプロセスデザイン」
筒井一伸 教授（地域学部地域創造コース）

地域参加型プロジェクト（調査型）

「リフレクティング・チームで対話することで、地域医療で働く専門職種の「緩和ケアに対する困難感」を明らかにする」
井上和興 講師（医学部医学科）

令和2年度の公募開始は令和2年1月頃を予定しています。大学と共同で解決したい悩み事をお持ちの地域の方、地域をフィールドとした研究課題をお持ちの研究者の方は、地域価値創造研究教育機構に気軽にご相談ください。

2019
7.7~

地域と大学をつなぐ、鳥取をもっと好きになるラジオ。

鳥取大学CoREラジオ

vol.19 ゲスト:長曾我部まどか先生

ゲストは、工学部社会システム土木系学科 社会経営工学の長曾我部まどか助教。社会持続可能な地域づくりをテーマに、より暮らしやすい社会を実現するための仕組みを明らかにする研究をされており、鳥取市の空き家調査や大山町でのまちづくりアンケート調査等についてお話をいただきました。



ON AIR 7月7日(再放送 7月14日)

vol.20 ゲスト:筒井宏樹先生

vol.20 ゲスト:筒井宏樹先生

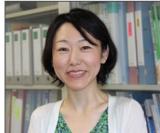
ゲストは地域学部附属芸術文化センターの筒井宏樹准教授。美術史を専門とする先生の鳥取大学に来られる前のお話から、大学教員としての授業の様子、鳥取市のイラストレーター毛利彰氏の研究のお話や、鳥取で約50年前に起こったアートシーン「スペースプラン」の研究などについて語っていただきました。



ON AIR 7月21日(再放送 7月28日)

vol.21 ゲスト:徳嶋靖子先生

ゲストは医学部保健学科地域・精神看護学講座 助教の徳嶋靖子先生。地域の中で生活する人の健康の保持・増進を対象にした「地域・精神看護学講座」についてのお話や、保健師の教育・育成、介護予防の活動、聞き取り調査でわかつてき「どういう地域基盤だと元気を保てるか」というお話などについて語っていただきました。



ON AIR 8月4日(再放送 8月11日)

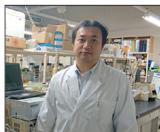
vol.22 ゲスト:野波和好先生

ゲストは農学部附属フィールドサイエンスセンターの野波和好准教授。民間企業で農機具の開発をしていたころのお話や、所属するフィールドサイエンスセンターのお話、芝の収穫の機械化や、らっきょう収穫の調整期など地域と一緒に行っている機械開発のお話などについて語っていただきました。

ON AIR 8月18日(再放送 8月25日)

vol.23 ゲスト:ハ木寿梓先生

ゲストは工学部化学バイオ系学科のハ木寿梓先生。タンパク質とは何か、その性質とは?といった基本的なお話から、多くの病気に共通する「タンパク質の凝集」についてのお話、その凝集を事前に食い止めるため、鳥取県のある地域素材を使った予防医学研究のお話などについて語っていただきました。



ON AIR 9月1日(再放送 9月8日)

vol.24 ゲスト:角南なおみ先生

ゲストは医学部医学科 社会医学講座医学教育学分野の角南なおみ助教。臨床心理士としての活動のお話や、地域価値創造研究教育機構(CoRE)から支援を受けて行っている、特性を持った小学生や保護者、先生を対象とした研究のお話、医学科の1~2年生や、看護師・保健師に向けたコミュニケーションの授業についてお話をいただきました。

ON AIR 9月15日(再放送 9月22日・9月29日)

第1回から第15回の内容はこちらから聴くことができます。

<https://www.core.tottori-u.ac.jp/category/journal/>

2019
8.20

地域づくりのための 自主講座

この講座は主体的に学びたいと思っている方が参加し、毎回発表者が、自身や運営組織の実践報告や理論発表など自由なテーマで語り、その後参加者で議論し、研究したことを地域づくりの実践に活かすことを目的とした講座です。地域住民や教職員、学生も参加しています。偶数月第3火曜日にCDLで開催。



2019年
8月20日

テーマ : 観光
発表者 : 鎌苅 慧哉さん

宮城県の民間企業で飲食店・宿泊施設の立ち上げ、運営に携わった経験を踏まえ、政令指定都市である仙台の観光と、中核市である鳥取市という地域での「観光での戦い方」について語っていただき、参加者で議論しました。

次回
開催

2019年 10月15日 地域の知恵が生み出した「新しい観光」-南信州のグリーン・ツーリズムを事例に-
発表者 : 地域力創造アドバイザー（総務省）/ 博士（政策科学） 安藤 隆一さん

地域（住民）自身が「新しい観光システム」を生み出すことが重要であるというお話や、10年間その地域に住んで「南信州のグリーン・ツーリズム」を事例に研究した内容を発表し、鳥取ではどう考えたらいいか提言していただきます。

とっとり県民カレッジ連携講座 鳥取大学サイエンス・アカデミー

会場：鳥取県立図書館2階 大研修室
鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ

時間：10:30～12:00

ライブ中継による聴講ができます！

米子市立図書館・倉吉市立図書館・琴浦町図書館
加藤文太郎記念図書館・南部町立法勝寺図書館

「平成の科学技術の進歩シリーズ」

7/27 生物の「動き」と「かたち」の数理

工学部機械物理系学科 中井 咲



生物に見られる優雅な動きや美しい模様が、どのように生まれるかについてお話ししていただきました。生命現象の多くはまだ謎に包まれていますが、松ぼっくりやロマネスクの模様など簡単な数学で説明できるものもあります。あわせて現在進行中の研究についても紹介していただき、生物を数学で表現することの意義と面白さを教えていただきました。

8/24 夏休み特別講座 学生と一緒につくる ロボット・AI・IOT

工学部 ものづくり教育実践センター 助教 三浦 政司



鳥取大学工学部ものづくり教育実践センターでは、大勢の学生がロボットやドローン、AIシステムなどをつくる活動に取り組んでいます。また、地域の企業と協力して新しい製品やサービスの開発に取り組んでいる学生もいます。今回の講演では、学生たちがつくったロボットや製品などについて紹介するとともに、活動を通して学ぶことのできるプロジェクトマネジメントやシステム思考などについても解説していただきました。

9/14 世界をリードする日本の蓄電池開発 ～鳥取大学の挑戦！～

工学部 化学バイオ系学科 教授 坂口 裕樹



環境に優しい電気自動車は世界で急速に普及しています。また、家庭や企業が自然エネルギーで発電した電気を無駄なく利用する「スマートグリッド」と呼ばれる電力配給システムも注目されています。生活に欠かせない電気を長く安定的に蓄えることができるのが化学電池です。講演では特に、蓄電池が何でできていて、どうして電気を蓄えたり取り出したりできるのか、これからはどうなるのかについてお話ししていただきました。

【県民カレッジ】
地域学部地域学科
国際地域文化コース
教授 川井田 祥子

障がい者の表現活動への関心が高まり、全国各地で展覧会が開催されたり、海外のフェスティバルに招かれたりすることが増えています。昨年6月には「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、福祉分野だけでなく様々な分野との連携が推進されていくことになるでしょう。その動向の背景には何があるのか、さらに私たちの日常生活にどのように関わってくることなどをお話をいただきました。

サイエンス・アカデミーの今後の情報は当機構のホームページで随時アップしています。

お知らせ

0 ⇒ 1 Acceleration Program ゼロイチ・アクセラレーション・プログラム

～新世代を生き抜く思考・行動様式と挑戦するマインドを養う、イノベーション人材育成プログラム～

社会やビジネスの複雑性が増し、曖昧で変化の激しい時代を迎えていたなか、高度成長（安定）期に適用した私たちの思考・行動様式はアップデートする必要性に迫られています。個人が創造力を育み、自らリスクを恐れず行動し、「構想力」と「価値創出力」を持って次世代を切り拓く人材が求められています。多くの企業様におかれましても、イノベーション創出や新規事業開発が経営課題となっているかと思います。

本講座は、鳥取大学、鳥取銀行、鳥取大学振興協力会が連携して開催する新たな取組みで、一連のプログラムでは、0を1にできる「ゼロイチ人材」に必要な、社会や経済に変革を与え挑戦するマインドセットや思考・行動のフレームワークを実践的に学んでいきます。

Organizer：鳥取大学地域学部 多田憲一郎 教授



オープニングセッション：10月5日 14:00～16:00（開場13:30）

鳥取大学 共通教育棟A20講義室

参加無料/100名

Speaker：株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子 氏

特定非営利活動法人 鳥の劇場 芸術監督 中島 謙人 氏

Moderator：鳥取銀行地方創生アドバイザー 安川 幸男 氏

起業家とアーティストが社会に対する問題提起や内発的動機に相似性があることを踏まえ、アーティストの思考プロセスを事業創出や起業家精神の醸成に活用できないか、また、演劇の身体表現を活用した起業家教育やフランス発のアートシンキングの現状について学んでいきます。

本講座＆ワークショップスケジュール 申込締切：2019年10月15日（火）

Lecture 2019.10/25 fri・11/19 Tue・12/19 Thu (18:00～20:00) & Workshop 2020.1/14 Tue (17:00～20:00)

お申込先

鳥取大学 地域価値創造研究教育機構 企画管理室

Mail: koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp (担当: 石井、阿部)

Tel: 0857-31-6777

お申込みはWEBでの申込フォームか、メールにて、氏名・所属・連絡先（電話・メール）をご連絡ください。

株式会社鳥取銀行 × 国立大学法人鳥取大学 × 鳥取大学振興協力会 協賛：Local Work Design Lab. / 新庄村



CoREの活動やイベント情報も盛りだくさん！ホームページ随時更新中！

<https://www.core.tottori-u.ac.jp>

インスタもやってます♪

cdltottoriで検索！

地域価値創造研究教育機構による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点です。
地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

平日9時30分から18時まで専用予約（貸切）がない場合は、随時自由に入室し、空いている席で打合せや雑談、休憩等をしていただけます。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐ 広報センター内)

TEL: 0857-31-5870

Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp

コミュニティ・
デザイン・ラボとは？